

Data(2015年8月現在)

所在地：〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
スタッフ：小笹美子(教授)、榊原文(講師)、藤田
麻理子(助教)、福岡理英(助手)
URL <http://www.med.shimane-u.ac.jp/kango/>



島根大学医学部看護学科 地域・老年看護学講座地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学科は1999(平成11)年に出雲市にある島根医科大学に医学部看護学科として設置され、県内初の大学による看護学教育を開始しました。2003(平成15)年4月に大学院医学系研究科に看護学専攻(修士課程)を設置しました。さらに2003年10月に旧島根大学と旧島根医科大学が統合し、本学科は島根大学医学部看護学科となりました。

本学科は基礎看護学講座、臨床看護学講座、地域・老年看護学講座の3講座で組織され、保健師教育に関する講義、演習、実習は地域・老年看護学講座の教員が担当しています。卒業生は、病院・介護老人保健施設等の看護師、市町村・保健所等の保健師、小中学校の養護教諭、大学・専門学校の教員など幅広い分野で活躍しています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学科は1学年70名(うち編入学10名を含む)全員が保健師と看護師の国家試験受験資格を取得できる保看統合カリキュラムを採用しています。多様な複雑な健康問題に対応できる看護人材、将来の看護をリードでき得る人材を育成しています。

保健師教育では学生の保健師への興味関心を深め

るために、講義では県内の保健師に実践している公衆衛生看護活動を紹介していただいています。実習では退職された保健師に嘱託講師を依頼し実習の充実をめざしています。また、看護基礎教育に加えて大学院教育にも力を入れています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は各自の現場経験を生かしさまざまな研究に取り組んでいます。テーマは「人材育成」「子ども虐待予防」「地域看護学実習の学び」「産業看護活動」「高齢者のQOL」などで、現場の協力を得ながら地域を基盤にした研究に取り組んでいます。

厚生科学研究費を獲得した「子ども虐待ボードライン事例に対する保健師の支援実践」の研究では、他大学の教員との共同研究を行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

実習指導や研究活動をチャンスととらえ、教員が現場に出かける機会を増やし、現場と大学が互いに顔の見える関係を築こうと心がけています。島根県看護協会の職能委員や支部の役員、自治体の人材育成の委員、保健師が参加する県内学会での査読委員、現場の活動報告会の助言等に積極的に関わること現場との連携を大切にしています。

ひとこと

保健師が地域に出かけ地域とのつながりを重視し、住民とともに地区活動を実践してきた島根県ですが、近年、保健事業が急速に増加し、保健師の原点である地域に出かける機会が少なくなってきました。人口減少と超高齢化が進む地方の地域保健活動を「見える化」し、保健師活動を再構築する研究に取り組みましょう。
……小笹

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。
応募について ● 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。
連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp